

弘前市上下水道事業の概要

令和3年4月12日
上下水道部総務課



目次

1. 上下水道部の組織
2. 水道事業の概要
3. 下水道事業の概要
4. 上下水道事業の課題

目次

1. 上下水道部の組織
2. 水道事業の概要
3. 下水道事業の概要
4. 上下水道事業の課題

1.上下水道部の組織

総 務 課 : 水道事業および下水道事業の経営・企画
工事契約、予算編成

営 業 課 : 水道料金・下水道使用料の収納
給水装置・排水設備工事の審査

工 務 課 : 水道事業の工事設計・施工管理
下水道事業の工事設計・施工管理

上水道施設課 : 水道施設の維持管理

下水道施設課 : 下水道施設の維持管理



目次

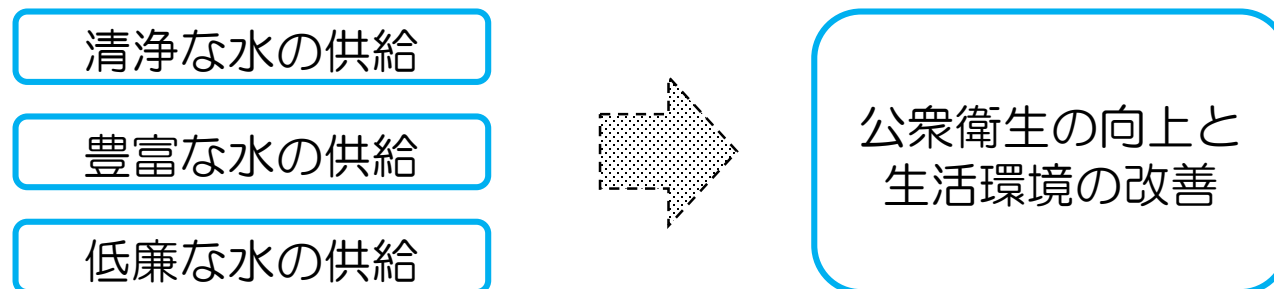
1. 上下水道部の組織
2. 水道事業の概要
3. 下水道事業の概要
4. 上下水道事業の課題

水道事業の役割（水道法第一条）

①水道法の規定

水道の基盤を強化することによつて、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もつて公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的とする。

②水道の役割



水道の種類（水道法第三条）

①上水道事業 弘前市が事業を実施

一般の需要に応じて、水道により水を供給する事業（給水人口100人以下であるものは除く。）経営は原則として市町村が行う。

②水道用水供給事業

水道事業者に対して水道水を供給する事業。

③簡易水道事業

給水人口5,000人以下である水道により、水を供給する事業。

④専用水道

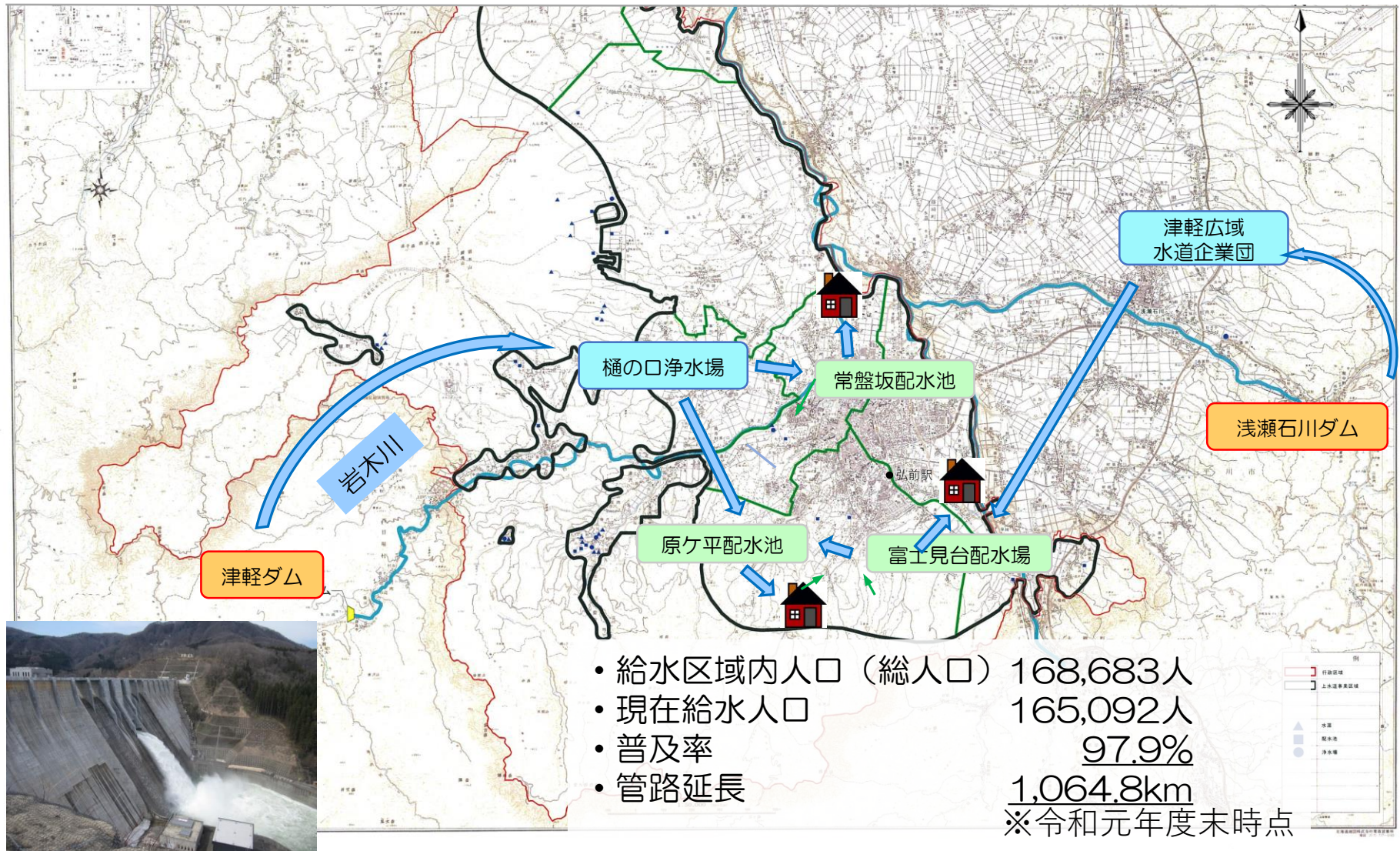
寄宿舍、社宅、療養所、養老施設等における自家用の水道その他水道事業の用に供する水道以外の水道であって、給水人口が100人を超えるもの、又は一日に給水することができる水量が20立方メートルを超えるもの。

弘前市の水道事業の沿革

○ 沿 革

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| 昭和 7 年 | 水道事業の認可取得 |
| 昭和 9 年 | 岩木川河川敷の深井戸を水源とし給水開始 |
| 昭和 35 年 | 樋の口浄水場建設着手 |
| 昭和 63 年 | 津軽広域水道企業団から受水開始 |
| 平成 18 年 | 市町村合併（旧弘前市、旧岩木町、旧相馬村） |
| 平成 28 年 | 簡易水道事業（5地区）、小規模水道事業（1地区）
を上水道事業へ統合 |
| 平成 29 年 | 津軽ダム完成により岩木川から安定した水道用水
の取水が可能となる。 |
| 令和 2 年 | 新樋の口浄水場等建設事業に着手 |

水道の給水区域



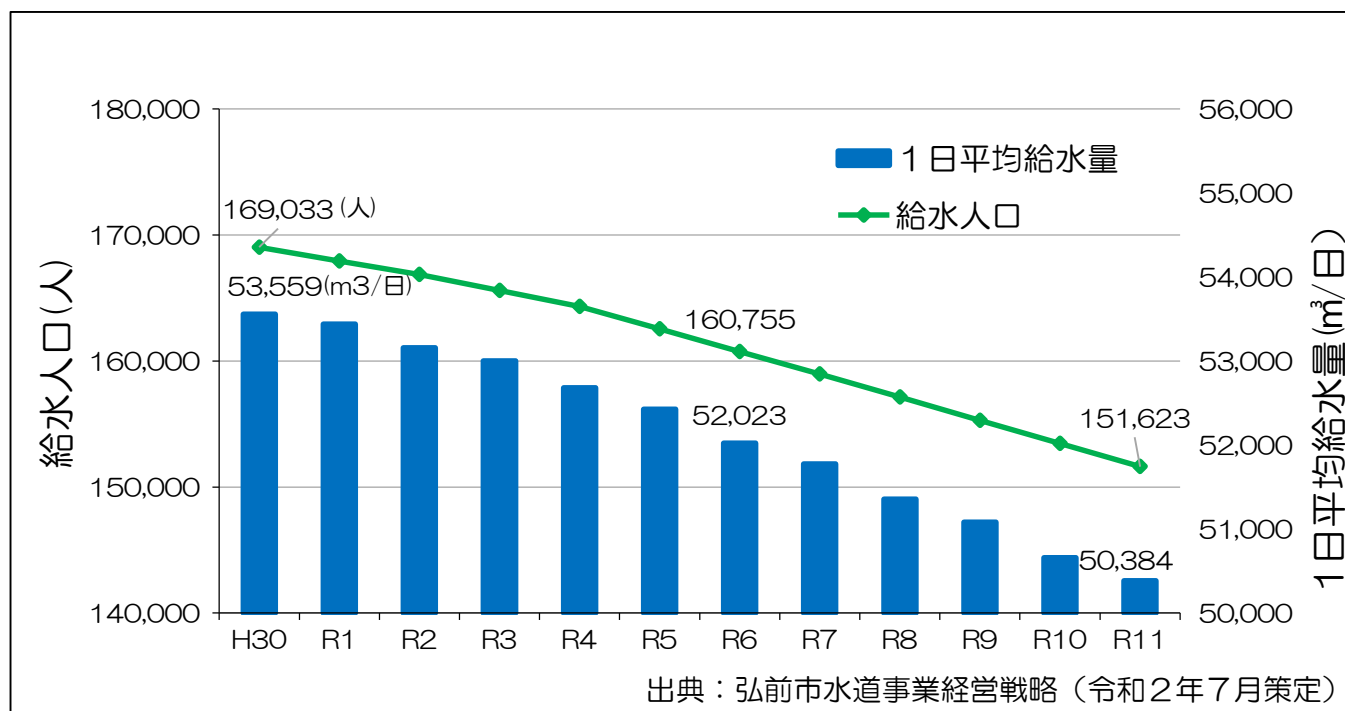
水道事業の概況①

- 給水人口

H30年度：約16万9千(人) ⇒ R11年度：約15万2千(人)（約10%減）

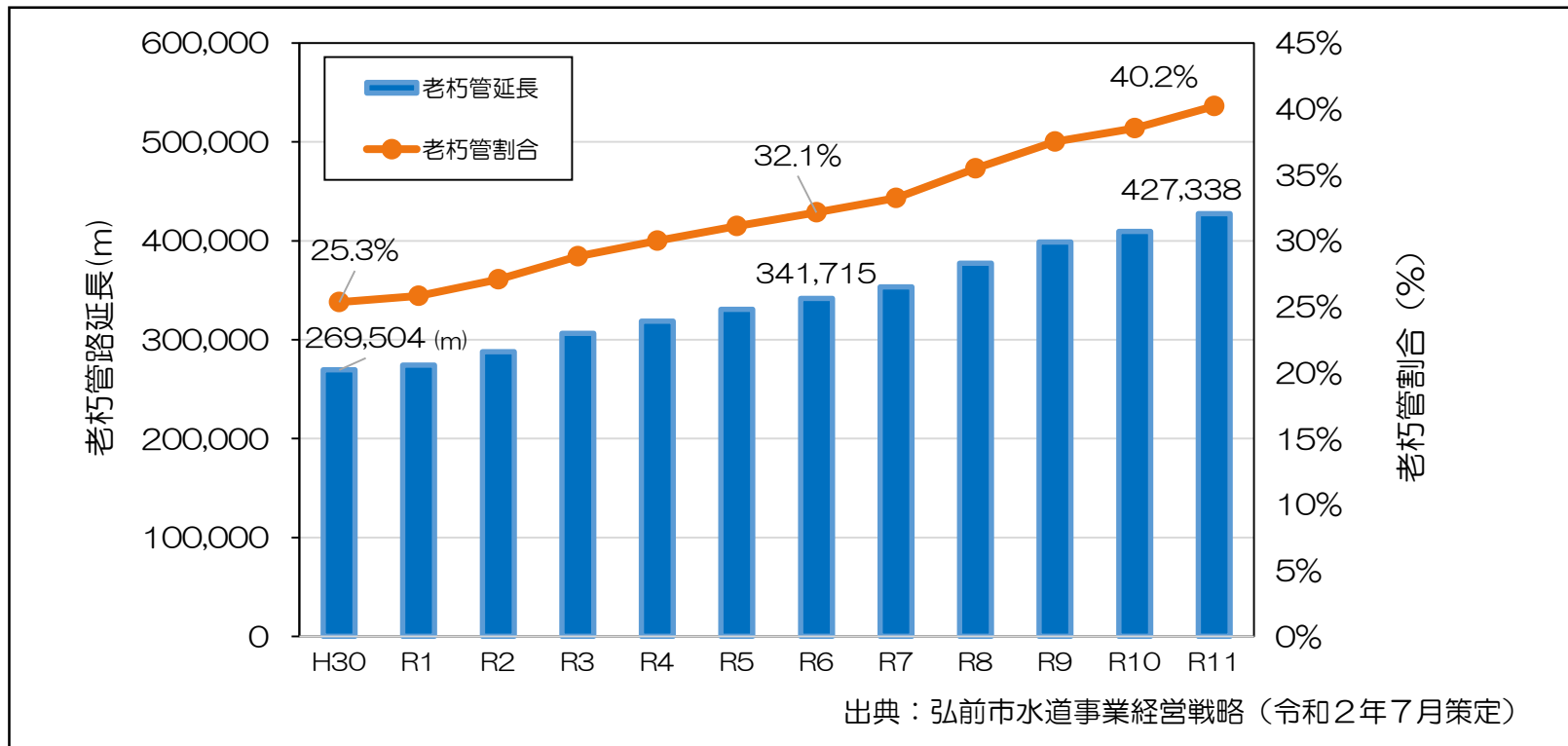
- 1日平均給水量

H30年度：約5万4千(m³/日) ⇒ R11年度：約5万(m³/日)（約6%減）



水道事業の概況②（管路施設）

- 管路：総延長約1,060km
- 法定耐用年数40年を経過した管
H30年度：約270km（約25%）⇒R11年度：約430km（約40%）



主な建設事業（水道事業）

- 老朽管更新事業
老朽化した水道管の更新
- 主要管路耐震化事業
拠点施設へのライフライン確保のため水道管を耐震化
- 樋の口浄水場等建設事業
老朽化および耐震化対策のため施設を更新

目次

1. 上下水道部の組織
2. 水道事業の概要
3. 下水道事業の概要
4. 上下水道事業の課題

下水道事業の役割（下水道法第一条）

①下水道法の規定

下水道の整備を図り、もつて都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資することを目的とする。

②下水道の役割

公衆衛生の向上

浸水の防除

公共用水域の水質の保全

資源の有効利用

下水道の種類（下水道法第二条）

①流域下水道（青森県が設置・管理）

2市町村以上の区域の下水を排除し処理する下水道。

②公共下水道

主として市街地における下水を排除し、処理するための下水道。

③特定環境保全公共下水道

公共下水道で行える区域以外の集落における下水道。

④農業集落排水施設

農業集落におけるし尿、生活雑排水を処理する施設。

⑤小規模集合排水処理施設

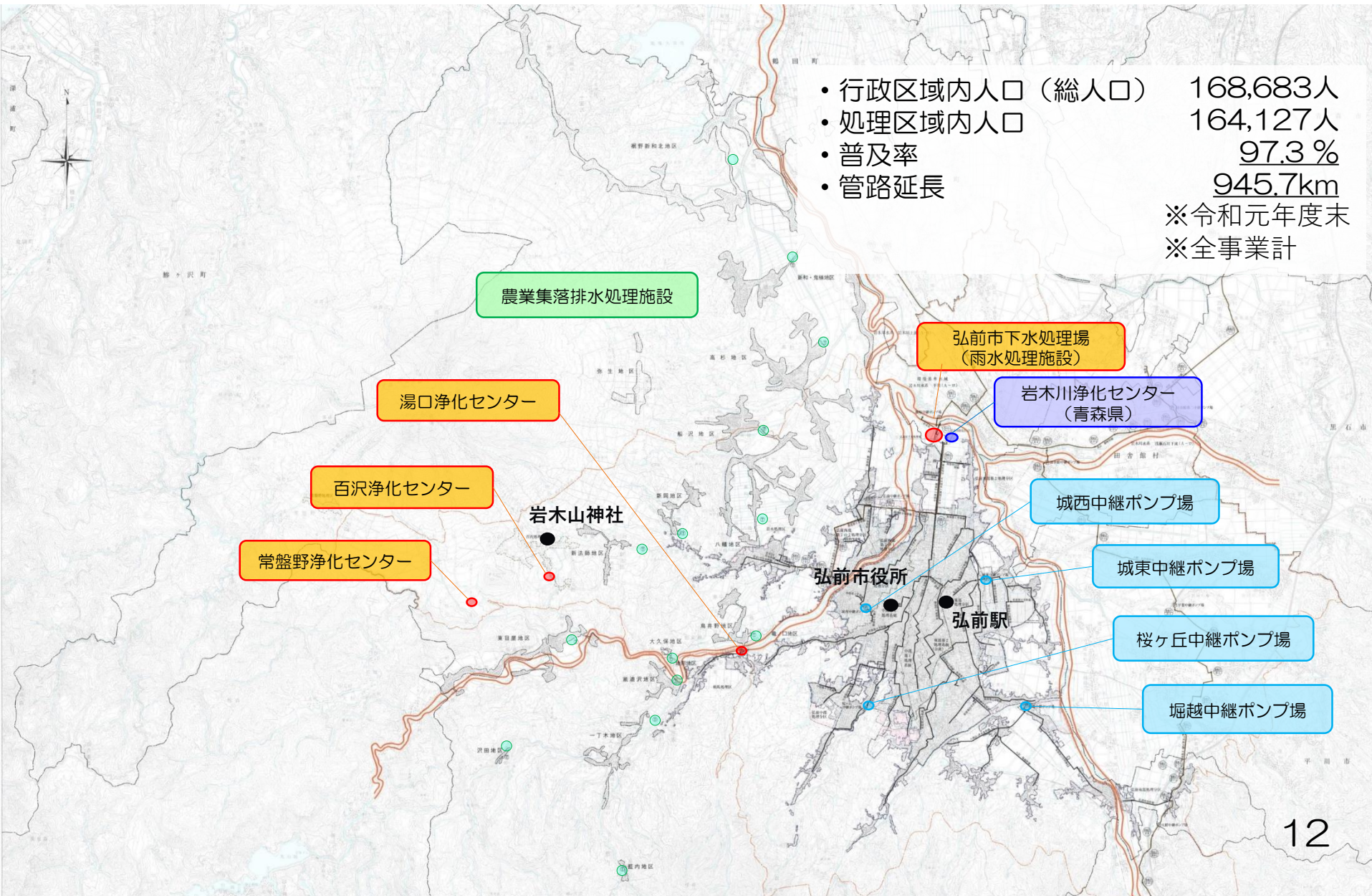
小規模集落における汚水を処理する施設

弘前市の下水道事業の沿革

○ 沿革

- | | |
|-------|---|
| 昭和36年 | 公共下水道事業の認可取得 |
| 昭和48年 | 弘前市下水処理場で処理開始 |
| 昭和54年 | 青森県で岩木川流域下水道事業に着手 |
| 昭和62年 | 青森県岩木川浄化センターで処理開始 |
| 平成 元年 | 旧相馬村紙漉沢地区で農業集落排水施設の処理開始
(以降、他地区でも処理開始) |
| 平成18年 | 市町村合併（旧弘前市、旧岩木町、旧相馬村） |
| 平成27年 | 青森県岩木川浄化センターへ弘前市下水処理場を
統合 |
| 令和 2年 | 百沢処理区及び常盤野処理区で特定環境保全公共
下水道の処理開始 |

下水道の処理区域



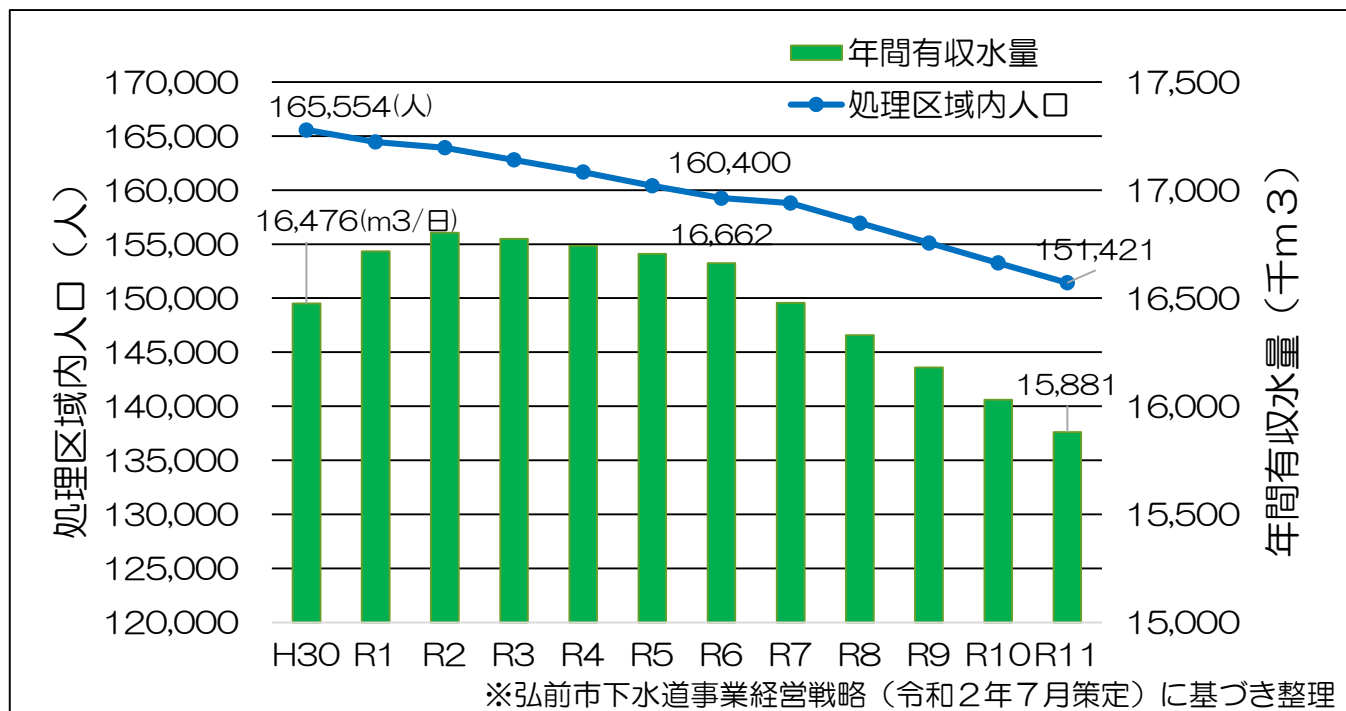
下水道事業の概況①

- 処理区域内人口

H30年度：約16万6千(人) ⇒ R11年度：約15万1千(人)（約9%減）

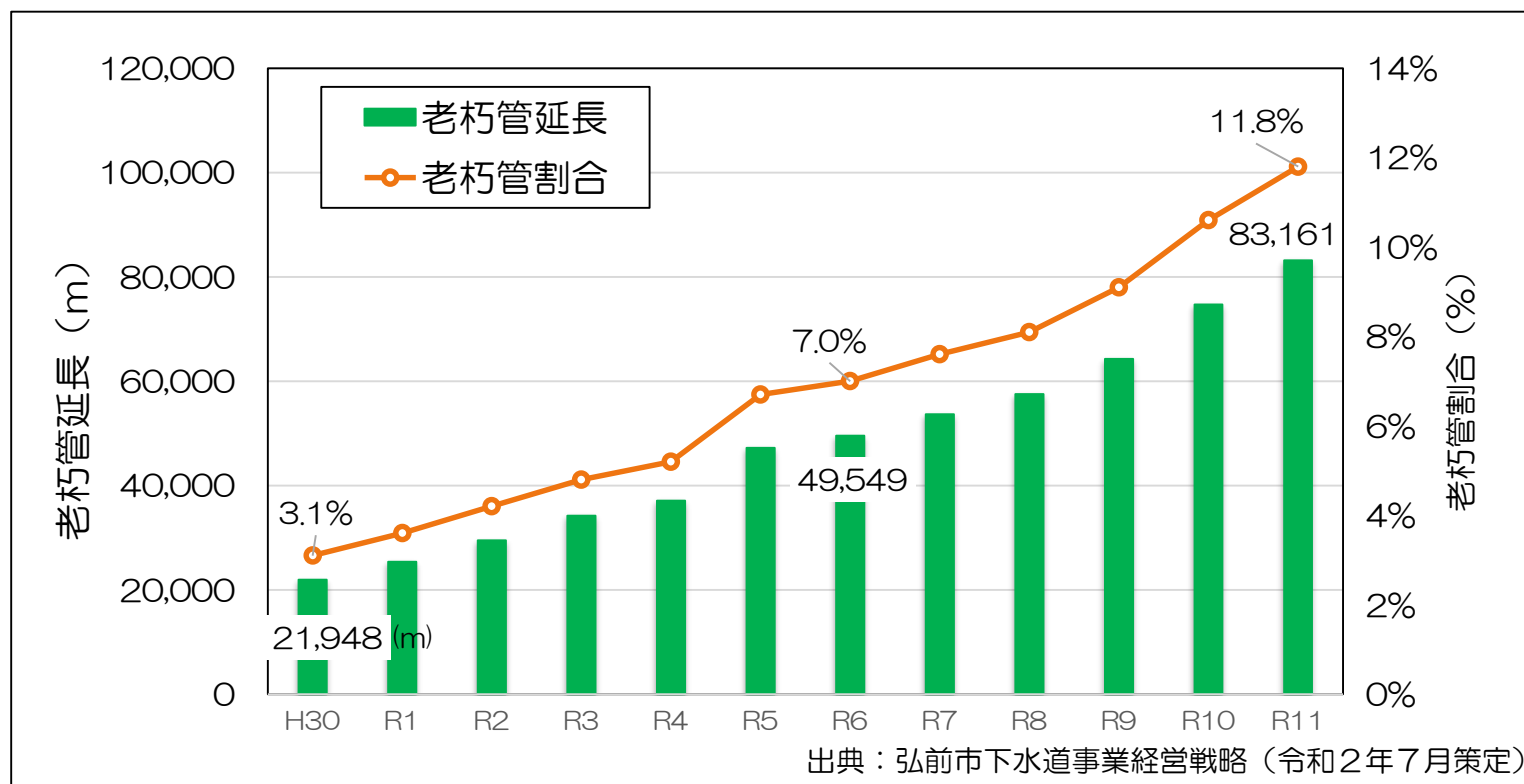
- 年間有収水量

H30年度：約1万6千5百(m³/日) ⇒ R11年度：約1万5千9百(m³/日)
（約4%減）



下水道事業の概況②（管路施設）

- 管路：公共下水道の管路総延長約710km
- 法定耐用年数50年を経過した管
H30年度：約22km（約3%）⇒R11年度：約83km（約12%）



主な建設事業（下水道事業）

- 公共下水道処理施設等改築事業
老朽化および耐震化対策のため施設を更新
- 公共下水道建設事業
未整備地区への下水道管の整備
- 管渠改築事業
老朽化した下水道管の更新



目次

1. 上下水道部の組織
2. 水道事業の概要
3. 下水道事業の概要
4. 上下水道事業の課題

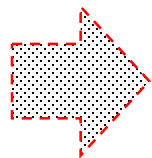
4.上下水道事業の課題

①経営の課題

人口減少に伴い、給水量や有収水量が低下し、料金収入が減少する見通しである。

②施設の課題

これまで整備を行ってきた上下水道施設の老朽化対策および耐震化対策に多大な整備費用を要する見通しである。



将来にわたって健全な上下水道事業を継続するため、上下水道の経営の健全化と経営基盤の強化に努めていく必要がある。